

あ と が き

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
菊地臣一
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
竹光義治
富田勝郎
戸山芳昭
内藤正俊
守屋秀繁
矢部裕
山室隆夫

編集主幹

土屋弘行
編集委員
黒田良祐
仁木久照
松本守雄
松山幸弘
山本卓明
吉川秀樹

オンライン投稿

ID : rinseige

パスワード : rinseige

超高齢社会を迎え国民の総医療費が高騰する中、本年4月より厚生労働省は、医療費削減を目的として、オプジーボを代表とする高額な薬剤や医療機器に関する価格調整を開始しました。そのための指標の1つとなるのが、医療の費用対効果です。医療経済や病院経営の視点から、費用対効果の評価・検討は重要であることは否定しませんが、それに影響されて、「医師が患者を救う」という医療の基本理念を忘れることは最も危険な行為です。仮に、費用対効果が低い手術や治療法であっても、患者にとって、かけがえのない医療が制限されることは厳に慎むべきです。病院経営においては、患者に必要な治療は継続しつつ、より費用対効果の高い治療により収益を上げ、全体の経営を健全化するという、懐の広い考え方が重要だと考えます。

今月号の誌上シンポジウムでは、「整形外科治療の費用対効果」を初めて取り上げました。整形外科における費用対効果は、いまだ不明な点が多いですが、今回、多くの執筆者に様々な専門領域から、現時点で明らかとなっている知見を紹介していただきました。大阪市立大学の加葉田先生には、統計学者の立場から、費用対効果の評価方法の基本を、整形外科医にもわかりやすく解説していただきました。また、整形外科医からは、脊椎外科手術、骨軟部腫瘍治療、人工股関節手術など、各分野別の費用対効果を分析していただきました。今後、さらに詳細な検討が積み重ねられることにより、費用対効果を認識しつつ、優れた整形外科医療が提供されることを切に期待しています。

最後になりましたが、編集委員を長年務めてきましたが、この度、委員を辞することになりました。本誌からは、学ぶことが大変多く、整形外科医として、貴重な情報、知識を得ることができました。多くの優れた論文をご投稿いただきました読者の皆様、編集委員の皆様、医学書院に感謝いたします。雑誌『臨床整形外科』の益々の発展を祈念しております。

(吉川秀樹)

臨床整形外科 (第54巻第8号)

2019年8月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 本体2,600円+税

2019年 年間購読料(送料弊社負担・本体価格)

冊子版 28,080円+税

冊子+電子版/(個人) 33,080円+税

電子版/(個人) 28,080円+税

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 俊

住 所 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電 話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・前野)

販売部直通 (03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693 番

印 刷 所 株式会社アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込 株式会社医学書院 電話 (03)3817-5696

表紙デザイン ミスター・ユニバース株式会社

レイアウトデザイン 有限会社ベシック

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2019. Printed in Japan.

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** (出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

※「臨床整形外科」は株式会社医学書院の登録商標です。